

第28回全国女性消防団員活性化石川大会が開催されました

第28回全国女性消防団員活性化石川大会が、令和5年11月16日（木）いしかわ総合スポーツセンターで、「ようこそ石川へ 百万石の花と咲け！輝く女性消防団」をテーマに、全国から約2,600人が参加して開催されました。

女性活性化大会は、全国の女性消防団員が一同に集い、日頃の消防活動や先進的な取り組みについてアピールするとともに、意見交換や交流を通じて連携を深めることにより、女性消防団員の活動をより一層活性化させることを目的とし、総務省消防庁、公益財団法人日本消防協会、第28回全国女性消防団員活性化石川大会実行委員会が主催、石川県と金沢市が共催して開催されました。

開会式では、大会旗入場の後開会宣言、国歌斉唱、林崎消防庁長官、秋本敏文日本消防協会会長の挨拶に続き、鍋谷有介石川大会実行委員会委員長（石川県消防協会会長）、開催地石川県の馳知事、村山金沢市長の挨拶がありました。

その後、活動事例発表として、大阪府女性消防団、山口県山口市消防団、大分県大分市消防団、石川県小松市消防団、和歌山県和歌山市消防団、の計5団の発表がありました。どの発表も素晴らしくそれぞれ工夫をされており、大変感銘を受ける内容でした。

その他、それぞれの団での活動や工夫している事や物品等をまとめて展示するPR展示が会場に設置され、見学された皆様は写真やメモを取る等、今後の活動の参考にされていました。

記念講演は、日本消防協会の消防応援団でもある、お笑いタレントの山田邦子氏と、石川県知事の特別対談がありました。お二人の息の合った掛け合いに、会場の皆様は頷きながら聞き入っておられました。

その後、の活動事例発表では、秋田県大仙市消防団、東京都赤羽消防団の計2団のシンポジウムがあり、パネルディスカッションでは、「女性消防団員の現状とこれから」と題し、コーディネーターは日本消防協会秋本会長、パネリストは、沖縄県消防協会久高会長（女性）、石川県小松市消防団、和歌山県和歌山市消防団、秋田県大仙市消防団、東京都赤羽消防団の皆様と、ディスカッションをされました。

閉会式では、大会宣言が朗読され、満場の拍手で承認されました。続いてお礼のことばの後、「大会旗」が石川県消防協会会長から日本消防協会会長に、そして次期開催地の栃木県消防協会会長へ引き継がれ、会長の挨拶の後、閉会宣言により大会は締めくくられました。

滋賀県からは、植田消防協会会長をはじめ、13消防団の女性消防団員や団長等、約85名が参加し、活動事例や防火防災啓発劇など他の消防団の取り組み等を熱心に学ぶとともに、全国各地の女性団員との交流を深めました。





